



ごあいさつ

新型コロナウイルス感染症により影響を受けられている皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

皆さま方には、日頃より、長野銀行をお引き立ていただくとともに、温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。当行についてのご理解をより一層深めていただくとともに、2022年9月期の業績、経営内容をご紹介するため、ここに「ディスクロージャー誌」を作成いたしました。

当行が営業基盤とする長野県経済は、少子高齢化と人口減少を構造的問題に持ち、新型コロナウイルスの影響、ウクライナ情勢、原材料の高騰、景気減速懸念など厳しい状況が続いております。こうしたなか、金融機関には、きめ細やかな機能・サービスの提供や事業領域の拡大、社会構造の変革への対応などが求められ、当行の地域における役割は益々重要になっております。

このような環境下において、当行は地域発展への更なる貢献を果たすため、同じ長野県を営業基盤とする株式会社八十二銀行と経営統合に向けた基本合意書を締結しました。現在は経営統合に向けて協議・検討を進めておりますが、地域の発展を使命とする両行が手を携え、健全な経営基盤の構築と金融仲介機能の強化を行うとともに、お客様のニーズや社会構造の変革に合わせた持続可能なビジネスモデル構築によって、両行のステークホルダーの皆さまの発展に貢献していきたいと考えております。

今年度につきましては、2022年4月よりスタートした第12次中期経営計画のもと総合金融サービス業の真価を発揮し、引き続き長野県経済の活性化に努めてまいります。

皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2023年1月

代表取締役頭取 西澤 仁志



当行の概要 (2022年9月30日現在)

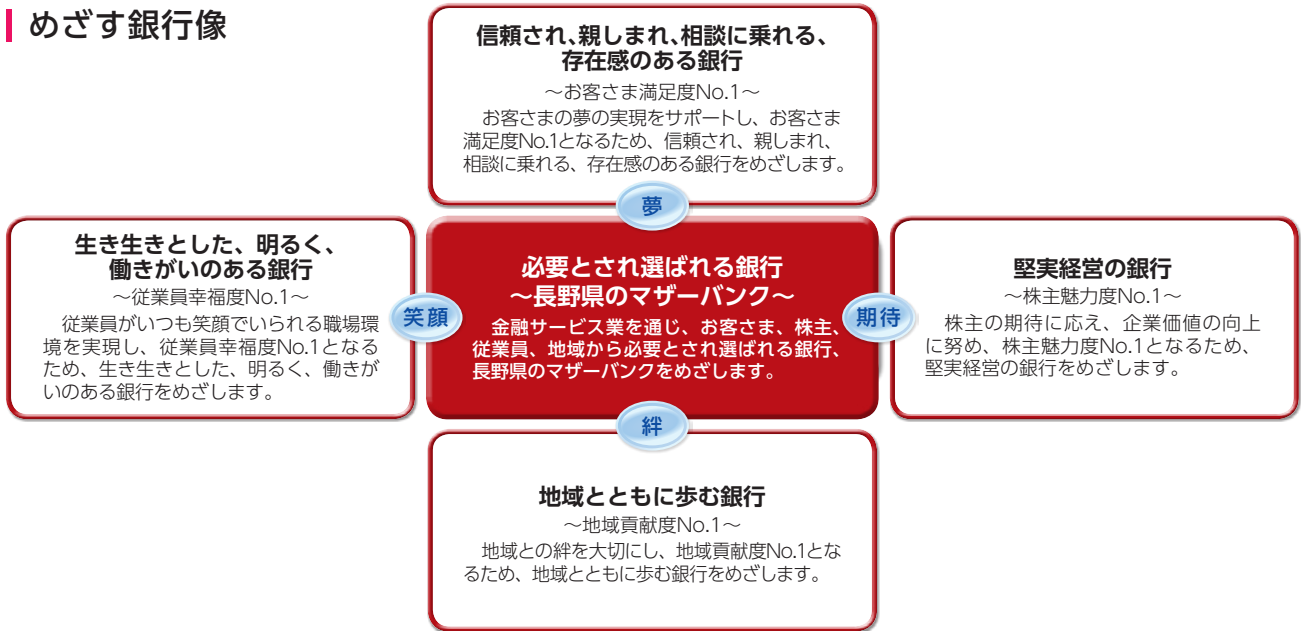
本店所在地	長野県松本市渚2丁目9番38号
創業	1950年11月15日
資本金	130億円
拠点数	県内52か店(うち出張所1) 東京1か店
店舗外ATM	56か所
従業員数	635名
主要勘定	預金残高 1兆1,048億円 貸出金残高 6,588億円

長野銀行がめざすもの

長野銀行がめざすもの

経営理念 当行は、お客さまと株主の皆さまおよび従業員の幸福と繁栄のために全力を尽くします。

めざす銀行像



第12次中期経営計画（2022年4月～2025年3月）

“あなたのために、あなたとともに「ミライ」を創造”
～地域社会とともに新たな価値を創造～

お客さま・地域の成長、発展支援を通じた持続可能な収益構造への転換による盤石な経営基盤の確立

4つの基本方針と基本戦略

1 総合金融サービス業としての真価の発揮 課題解決支援の徹底 ・法人コンサルティング ・個人コンサルティング ・地域共創社会の創造	2 経営の多角化・高度化 新たな取組の促進 ・事業領域の拡大による提供価値の多様化 ・グループ総合力の発揮	3 DXの推進と業務改革 IT活用によるお客さま満足度・生産性の向上 ・オンライン完結型サービスの拡充	4 人財の活性化 何事にも積極的にチャレンジし、お客さまの期待と信頼に応えられる人財の育成
--	---	--	---

計数目標

指標	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
当期純利益	10億円	12億円	15億円
自己資本比率(単体)	9.3%程度	9.4%程度	9.5%程度
役務収益比率	14%程度	16%程度	20%程度
OHR	85%程度	83%程度	80%程度
創業・第二創業支援先数	累計150先	累計300先	累計450先
事業承継・M&A支援先数	累計250先	累計520先	累計800先

2023年3月期主要係数目標と進捗

	当期純利益	自己資本比率	役務収益比率	OHR	創業・第二創業支援先数	事業承継・M&A支援先数
目標	10 億円	9.3%程度	14%程度	85%程度	150 先	250 先
進捗	5 億円 (中間純利益)	9.5%	14.8%	84.3%	101 先	143 先

(2022年9月30日現在)

NAGANO BANK DISCLOSURE 2022